

横手市議会定例会  
市長所信説明

令和5年12月

(令和5年11月20日 告示)

横手市

## 第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が<sup>ひら</sup> <sup>かがや</sup> 燦くまち よこて

### 後期基本計画 政策・施策

**政策1** 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます  
【健康福祉】

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 【施策 1-1】 子育て支援の充実          | 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実   |
| 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進      | 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実      |
| 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成 |

**政策2** 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます  
【教育文化】

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 |
| 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備      | 【施策 2-4】 心を豊かにする生涯学習の推進    |
|                                 | 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見   |

**政策3** 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます  
【生活環境】

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全    | 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進   |
|                                | 【施策 3-5】 地球温暖化対策の推進    |

**政策4** 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります  
【産業振興】

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信     |
| 【施策 4-2】 活気ある商業の振興  | 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】 活力ある工業の振興  |                            |

**政策5** 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます  
【建設交通】

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現     | 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現       | 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備         |
| 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実 |                                  |
| 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化 |                                  |

**政策6** やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます  
【市民協働】

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり           | 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進 |

**政策7** 横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます  
【行政経営】

- |                                 |
|---------------------------------|
| 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進 |
| 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進   |
| 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実   |

## 目 次

<b>1. はじめに</b> .....	1
<b>2. 令和5年度事業等の進捗状況について</b> .....	5
(1) 猛暑などによる農作物等への影響について .....	5
(2) 多発するクマの出没について .....	7
(3) 雪対策について .....	9
(4) 横手駅周辺整備について .....	10
(5) 大型公共施設整備事業について .....	11
(6) 公共温泉施設について .....	12
(7) 歴史・文化・マンガを活かしたまちづくりについて .....	15
(8) 仙台圏における応援人口との関係深化と魅力発信の取り組みについて .....	16
<b>3. 新たな施策等への取り組みについて</b> .....	18
(1) 令和6年度予算編成方針について .....	18
(2) 自然災害への対応状況について .....	19
<b>4. 補正予算について</b> .....	20
<b>5. おわりに</b> .....	21
<b>※行政一般報告編</b> .....	22

令和5年12月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 1. はじめに

記録的な猛暑となったこの夏の暑さは9月末まで続き、厳しい残暑となりましたが、その後は一気に冷え込んだかと思えば今月に入りまた25度を超える夏日を記録するなど、四季がはっきりとしない、季節感をつかみにくい日々が続いているように感じております。この後本格的な降雪シーズンを迎えることとなりますが、異常気象という言葉が普通に用いられるような昨今の気象状況でありますので、今期も雪に対する備えに万全を期してまいります。

日銀秋田支店や財務省秋田財務事務所が先月発表した経済情勢によりますと、県内の景気は緩やかな回復傾向にあるとの判断が示され、新型コロナウイルス感染症の5類移行等の世相を反映し、個人消費が緩やかに持ち直している、とされております。経済専門紙では、個人所得が増えているとする記事が1面トップに掲載され、バブル期の30年前と比較した伸び率では秋田県が都道府県別で第2位

となっておりました。県内の所得上昇の要因としては、道路網の整備や製造業の進出が挙げられており、記事の中では横手市の所得が4.7パーセント上昇し、自動車関連企業の立地が進んでいると紹介されております。私は、企業誘致を進めるにあたって、高速道路などの道路網整備は欠くことのできない必須事項であるとの認識から、市長就任以来、これらを一体的に推進することに力を注いでまいりました。近年の企業進出に伴い設備投資が進み、その結果が徐々にではありますが当市における所得の向上につながったものと受け止めております。現在の物価高騰のなかでは、生活必需品等の値上げ幅に賃上げが追い付いていないとする指摘も承知しておりますが、新たに進出いただいた企業や長年地域に貢献いただいている地元企業など様々な業種の企業において、従業員の就業環境や待遇の改善、福利厚生の実充等を重視して取り組んでいただいている旨を伺っておりますので、今後もさらなる所得向上の流れへとつながることを期待しております。

一方、農業につきましては、この夏の大雨や異常とも言える暑さの影響により、様々な作物で生育不良等が見られ、さらにはクマによる食害も増えるなど、困難な局面が続いていることから、自然相手の農業の難しさを改めて痛感しております。そのなかにあっても奮闘を続ける農業者の皆様の日々の努力の積み重ねにより当市の農

業生産が成り立っていることを再認識しているところであり、市といたしましても、引き続き関係機関との連携により、農業所得の向上に向けた対策等に一層注力してまいります。

今月9日から12日にかけては、JR北上線の横手駅から北上駅まで全区間を対象とした運賃無料キャンペーンが実施されました。期間中、大勢のお客様を乗せて走る北上線の列車を目にし、横手・北上間を東西に結ぶこの横軸の連携が古くから当市の産業の発展や人的交流の促進等に大きく貢献してきたことに改めて思いを馳せる機会となりました。地方を走る鉄道の利用者数は全国的に減少傾向が続いており、赤字ローカル線をめぐっては、存廃の議論に向かうのではとの報道もありますが、当市にとって北上線は、なくてはならない重要な公共交通機関であることは言うまでもありません。災害時の代替性・補完性や、市内外の交流・観光・物流など地域経済への寄与という観点からも、必要不可欠なインフラとして捉えており、東北新幹線への接続という意味で北上線の果たす役割は極めて大きいものがあります。その価値は収支のみで判断されるものではなく、今回のキャンペーンをきっかけに、この地域における鉄道の存在意義とその価値を改めてお考えになられた方も多いものと感じております。地域の貴重な財産である鉄道の維持を図るため、今後沿線自治体との連携のもと、北上線の利用促進等に継続的に取り

組んでまいりますので、市民の皆様におかれましては、鉄道や駅が今後も維持されるよう、積極的に北上線を活用いただきたく存じます。

さて、市民の皆様にご心配をおかけしております横手駅東口の市街地再開発事業につきましては、工事が再開され、民間の複合施設、新公益施設<sup>あ お ー な</sup>A o - n a とともに、今後のスケジュールの目処が立ってまいりました。大型公共施設整備事業につきましては、横手体育館の建設工事に着手、横手市民会館については再入札に向けた手続きを進めているところであり、こうした再開発事業や公共施設整備により、地域経済の好循環をより一層促進させてまいりたいと考えております。建物ができて終わりではなく、それを活かしてどのようにまちづくりにつなげていくかという視点をしっかりと持ち、知恵を絞りながら活用の裾野を広げていくよう取り組んでまいります。

先の10月臨時会におきましては、子どもの成長応援給付金事業として、対象児童・生徒1人あたり25,000円を支給するための補正予算を議決いただきました。今月中に支給を開始できるよう事務手続きを進めており、長引く物価高騰に直面する子育て世帯において家計の一助としていただきたいと存じます。喫緊の課題であります少子化・人口減少対策に引き続き部局横断で取り組んでいくとともに、企業進出や再開発事業等による新たな人の流れをしっかりと

りとまちの賑わいにつなげ、所得向上、経済活性化によって未来へと成長を続ける横手市の礎を築いてまいります。

## 2. 令和5年度事業等の進捗状況について

### (1) 猛暑などによる農作物等への影響について

農林水産省が公表した10月25日現在の県南のコメの作況指数は「98」の「やや不良」となっております。

J A全農あきたが発表した本年のあきたこまち60キログラム当たりの概算金は、肥料や燃料等の高騰による生産コストの上昇に配慮したかたちで、前年から1,000円引き上げられ12,100円となりました。全国的には外食需要の増加などから、米価は若干持ち直したものの、生産コストの上昇に加え、大雨や猛暑の影響により収量が低下している状況であり、残念ながら農業所得の向上は見込みづらいものと考えております。

また、J A秋田ふるさと管内の一等米比率は80パーセント前後と近年にない低水準であり、この夏の猛暑による高温障害が大きな要因と考えられます。ただ、他産地との比較で申し上げますと、極端な品質の低下までは至っておらず、適切な肥培管理と防除の徹底、色彩選別機の導入推進など、良質米生産への取り組みが一定の成果



をもたらしたものと捉えております。

当市におきましては、引き続きJAをはじめとする集出荷業者の皆様による事前契約の推進など、需要に応じた米の生産を進め、安心して米作りができる環境を農業者の皆様に提供できるよう取り組んでまいります。

次に、野菜や花きなどの園芸作物では、主力品目のスイカは7月の大雨の影響などから出荷量は前年を下回ったものの、猛暑による品薄と消費地の好天などの要因から終始高値で取引され、結果的には前年度とほぼ同等の販売額となりました。その一方で、8月の高温と少雨により、トマトでは9月以降に収量の低下が見られたほか、枝豆やアスパラガス、彼岸向けの露地菊などは計画を下回る出荷数量となっており、多くの品目で期待していた収穫量に至らなかったと伺っております。

また、枝豆やホップなどでは、7月の大雨による圃場<sup>ほじょう</sup>の冠水<sup>かんすい</sup>の原因とした収量の低下が確認されており、県の復旧支援対策事業の対象となっております。

果樹におきましては、ぶどうは夏の高温・少雨により房<sup>ふさ</sup>が小ぶりではあったものの、各品種とも不作だった前年を上回る収穫量となり、品質も良好であったことから取引価格は高値で推移いたしました。りんごにつきましては、価格は高値で推移しておりますが、高

温・少雨の影響で早生種<sup>わせ</sup>や中生種<sup>ちゅうせい</sup>を中心に日焼け果<sup>か</sup>の発生や着色不良が見られ、小玉傾向となっております。特に「さんさ」や「つがる」は影響が顕著となっております、収穫量は前年と比べ3割から4割台と大きく落ち込みました。今後の晩生種<sup>ばんせい</sup>による挽回を期待したいところですが、主力品種の「ふじ」は小玉傾向のため、収穫量は前年を下回る見込みと伺っております。

なお、「世界有数の豪雪くだもの産地」をアピールするJA秋田ふるさとの「銀世界」ブランドは、昨年ほりんごのみでの展開でしたが、今シーズンからぶどうや桃など全ての果実の販売促進活動で統一ブランドとして展開されております。市といたしましても、雪国・横手を前面に押し出したブランド戦略を支援しており、今後、市場や消費者への認知度がさらに高まり、農業所得の向上につながっていくことを期待しているところであります。

このように猛暑などの影響から農業経営にとって厳しい状況が続いておりますが、今後もさらなる複合農業産地化に向けた支援を進め、国や県の動向も注視しつつ、農業者の皆様が安心して営農継続できるよう関係機関と連携して対策を講じてまいります。

## (2) 多発するクマの出没について

本年は県内全域においてクマの目撃情報が多く寄せられており、

人里にも出没していることから、人身被害は過去最多の件数となっております。こうした事態を受け、市では横手かまくらFM、防災行政無線、チラシなど多様な媒体により市民の皆様への注意喚起を行っております。

当市におきましては、人身被害は発生していないものの、今月15日現在で目撃件数が122件、捕獲頭数が108頭と、いずれも過去最多であり、これまでに類を見ない状況であります。現場対応にあたっては、鳥獣被害対策実施隊員でもある地元猟友会の皆様に精力的に従事いただいていることで、市内における被害の拡大が食い止められている部分が大いにあるものと存じます。人員が減少傾向にあるなか、危険をいとわず追い払いや捕獲等の活動にご尽力いただいております猟友会の皆様に対しまして、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。市では、こうした対策に従事いただく人材の育成ということも課題と捉え、今年度から狩猟免許取得費用等に対する助成制度を創設し、新たな鳥獣被害対策実施隊員の確保にも取り組んでいるところであります。

また、クマによる被害は農作物にも及んでおり、収穫間近の果樹の食害など農業者にとって大きな痛手となるような被害が市内各地で発生していることもあり、市では農作物被害の防止・軽減に有効な電気柵の設置費用の一部を補助しております。今月15日現在

で41件の申し込みをいただき農業者の皆様にご活用いただいております。一定の効果があつたものと伺っております。

有害鳥獣被害対策を効果的かつ効率的に進めるためには、やぶの刈払いや生ゴミ・農作物残渣を適切に処理するなどの「生息環境管理」、電気柵の設置などの「被害防止」、農作物等に被害を及ぼす個体を駆除する「有害捕獲」、この3つの対策に総合的に取り組むことが重要となります。同様の悩みを抱える他市町村の事例等も参考に、関係機関や猟友会、地域の皆様のご協力をいただきながら、引き続き対策に取り組んでまいります。

### **(3)雪対策について**

今年度の除雪体制につきましては、例年同様に早期の降雪に備え今月1日から出動が可能な体制を構築しているほか、これまで使用していた「赤坂総合公園駐車場」の代わりとなる新しい雪捨場を前郷字<sup>はげやま</sup>元山地区及び大沢字山下地区の2箇所<sup>2箇所</sup>に設け、受入れ体制を整えております。

昨年度は、累積降雪量としては平年並みでありましたが、近年においては短期集中的に異常な降雪量を記録するような降り方が多くなっていることから、油断することなく、安全・安心な市民生活の確保に向け、効率的かつきめ細かな除雪作業に努めてまいります。

す。

また、今年度をもって第3期横手市総合雪対策基本計画の期間が終了となることから、現在、第4期計画の策定に向け、各地域の代表者や団体、関係機関等と相互に連携を図り、作業を進めているところであります。今後も「みんなでつくる 安全・安心な雪国 横手」という基本方針に基づき、雪対策など関連施策の推進に取り組んでまいります。

#### **(4)横手駅周辺整備について**

横手駅東口第二地区市街地再開発事業につきましては、民間の複合施設であるB-1棟で設計図書と異なる施工が行われたことにより、全ての建築工事を中断しておりましたが、先般、再開発組合が建物を設計図書どおりに戻すと決定したことを受け、現在、是正工事が進められております。

これにより建物の完成時期は、B-1棟が本年8月から令和6年8月へと約1年間遅れることになりました。よこてシャイニーパレスや横手ステーションホテルの解体及び賃貸・分譲マンション等となるC棟・D棟の建物完成時期につきましても、組合の事業計画から1年以上遅れる見込みとなっております。

また、新公益施設<sup>あおーな</sup>A o - n a となるA棟につきましては、令和

6年2月の予定であった建物の完成時期が同年7月へ遅れることから、横手図書館の移転作業等を考慮のうえ、開館予定日を令和6年9月14日と定め、準備を進めてまいります。

なお、現在の横手図書館につきましては、令和6年2月29日をもって閉館いたしますが、移転準備と並行し、同年8月下旬までY<sup>2</sup>ぷらざにて図書の貸出や返却ができる代替サービスを行ってまいります。

市といたしましては、市民の皆様が安心してご利用いただける駅東口エリアとなるよう、引き続き工事を厳しく注視していくとともに、市街地再開発事業の事業効果が確実に発現されるよう、国・県と連携を図りながら事業をバックアップしてまいりたいと考えております。

なお、市街地再開発事業とあわせて進めております都市再生整備事業では、引き続き電線類地中化のための共同溝設置工事と歩道整備及び照明灯設置工事を進めてまいります。横手駅東口周辺をご利用される皆様には、完成まで今しばらくご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## **(5)大型公共施設整備事業について**

横手体育館の整備につきましては、令和8年3月の完成を目指し、

今月 1 日に建設工事に着手いたしました。

一方、先月の入札において不落となった横手市民会館の建設工事につきましては、不落の要因分析を行い、発注方式や入札参加要件、設計額等の見直しを図ったうえで、今月 9 日に再入札に向けた公告を行っております。

市民会館の建設につきましては、引き続き強い思いで挑戦してまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。

## **(6)公共温泉施設について**

本年 7 月から 8 月にかけて、上畑温泉「さわらび」の施設内において大量の漏水が確認されたほか、昨年度解体いたしました「ゆーらく」の敷地内にある源泉井戸に不具合が生じ、温泉の汲み上げ自体が困難な状況となりました。

不具合発生を受け、その原因や対処法、復旧の可能性等に関して専門の方にご意見をいただいたところ、「さわらび」内の漏水により、「ゆーらく」等の周辺施設にも給水することができなくなっていることが判明し、さらに「さわらび」内の漏水箇所が特定できないため、施設の復旧自体が非常に厳しいことが分かりました。

源泉井戸につきましては、市町村合併前の平成 16 年にも同様の

湧水症状が現れ、専門業者による改修工事を実施しており、その際の原因は、温泉に含まれるカルシウム成分が井戸管を塞いだことによるものとのことでありました。今回も同様の原因であることが推察され、その原因特定と復旧には多額のコストを要することが判明いたしました。

本年6月定例会において、「さわらび」については民間事業者への施設譲渡を、「ゆーらく」については再建を目指す内容で、地域の皆様、議員の皆様にご提案申し上げておりましたが、「さわらび」の復旧の目処が全く立たない状況となったこと、また、湧水症状を呈している源泉井戸や新たな水源の確保に多額のコストを要すること等を考慮し、誠に苦渋の決断ではございますが、上畑温泉の再建については断念せざるを得ないものと判断したことにつきまして、何卒ご理解をいただきたく存じます。

また、「ゆとりおん大雄」につきましては、この8月に運営の継続を求める陳情書が提出され、先の9月定例会において陳情が採択となりました。

その後、公共温泉施設の方向性に関しまして改めて協議・検討を重ねてまいりましたが、地域の皆様の思いや陳情採択の結果を重く受け止めつつも、市といたしましては、「温泉利用需要規模の総合的な縮小や老朽化が進む施設・設備類の状況等も考慮し、保有する



温泉施設数をでき得る限り減らしたいこと」、「専門家による各施設の状態把握調査や温泉アンケート結果等を踏まえ、市が関与を継続する施設の数に3施設を基本としたいこと」、「本年6月定例会にご提案申し上げた公共温泉施設に関する方向性案については、各施設の利用状況、施設があるエリアの地理的な条件、経営に必要なコストなど様々なデータを確認しながら協議・検討を重ねたものであること」等を考慮し、市が関与を継続する施設を「ゆっふる」「さくら荘」「鶴ヶ池荘」の3つとしたい意向であります。

「大森健康温泉」「ゆとりおん大雄」につきましては、前回の民間譲渡時の公募要件や必要な改修工事内容等を精査し、改めて民間事業者の皆様への施設譲渡を目指してまいりたいと考えております。

なお、今後、温泉機能が無くなる地域につきましては、多様化するライフスタイルや市民の皆様へのニーズ等を踏まえつつ、地域の課題解決に向けた取り組みやあらゆる世代の皆様への元気創出につながるような新たな地域活性化策を、地域の皆様とともに検討してまいりたいと考えております。

公共温泉施設に関する取り組みにつきましては、多種多様な行政需要の増加が見込まれるなかで「今の時代に即した、今の横手市に必要な改革に果敢に取り組まなければならない」との強い思いで推進してきたものであることに、何卒ご理解、ご了承をいただきます

ようお願い申し上げます。

## **(7)歴史・文化・マンガを活かしたまちづくりについて**

増田の町並みは、重要伝統的建造物群保存地区の選定から本年度10年を迎えました。この間に市民の皆様による活動も盛んになり、「増田まちなみ保存会」や「増田まちなみ研究会」などの組織が生まれ、防災訓練や修理修景相談会、技術者育成などの自主的な活動が進んでいるほか、先月の開催で15回目を迎えた公開イベント「蔵の日」も、成功裏に終了しております。

この間、市では29件の伝統的建造物修理事業や防災対策事業を実施し、地区の保存に努めてきたほか、文化観光の回遊性強化を目指し、関係団体との連携を深めてまいりました。令和元年の増田まんが美術館リニューアルを機に、美術館と町並みとの連携がより強化され、美術館の企画展にあわせた連動イベントの開催をはじめとして、観光客が相互に行き交うための仕掛けづくりに取り組んでいるところであります。

こうした10年間の歩みを振り返る「重伝建選定10周年記念シンポジウム」を、今月12日に増田まんが美術館特別展示室にて開催いたしました。シンポジウムでは、歴史的な町並みを市民の共有財産として将来に継承するために地域振興や産業の育成につなげな

がら活用していくことの重要性を改めて参加者の皆様と共有することができました。

また、増田まんが美術館においては、先月7日から来年1月28日までの間、「釣りキチ三平生誕50周年記念展」が開催されており、期間中は美術館を拠点に回遊性を高める企画として増田の町並みと連携したスタンプラリーなどが実施されております。

今後も、伝建地区という時代を超えて脈々と受け継がれる文化と世代を超え新たな未来へと紡ぐマンガ文化を両輪に、歴史・文化・マンガを活かした賑わいのあるまちづくりを進めてまいります。

## **(8) 仙台圏における応援人口との関係深化と魅力発信の取り組みについて**

応援人口の皆様とのつながりを深める取り組みとして、横手応援市民学校「なべっこ遠足 in 仙台」を先月22日、仙台ロイヤルパークホテルを会場に開催し、仙台市内のほか、東京、埼玉から合わせて42名の方にご参加いただきました。イベントのなかでは、参加者の皆様に今後も横手を「応援したい」と思っていただけのように、横手とのつながりを深めるきっかけ作りとしてワークショップを行いました。各々が感じている横手に関する悩みや心配事など身近なテーマについて意見を出し合ったうえで、その解決につながる

応援アイデアを活発に議論いただくなど、限られた時間のなかではありましたが、有意義なワークショップとなりました。

また、今月10日から12日にかけての3日間、仙台駅の東西自由通路を会場に、横手の魅力を発信する物産展「リトルよこて」を開催いたしました。

自由通路の1日の通行人数は約5万人ともいわれ、期間中は十文字・山内の市内2つの道の駅によるりんごやいものこなど旬の食材をはじめとした特産品の販売のほか、実寸に近いかまぐらのパネル展示などにより、通行される多くの方々に横手の魅力を実感いただくことができたものと考えております。

開催の周知にあたっては、仙台市にお住まいの秋田県人会の皆様や市内高校の同窓会、また「よこてfun通信」の読者など、横手に縁のある皆様からご協力をいただき、会場を訪れた多くの横手市出身者・関係者、さらには仙台市民の皆様と、対面にて直接交流を深めることができました。

「なべっこ遠足」、「リトルよこて」とともに、これまで東京で開催してきたところですが、今回初めて仙台にて開催を試みたところ、一定の成果を得ることができました。今後も仙台圏に対する魅力発信を継続的に実施し、横手市の認知度向上と応援人口の拡大につなげていくとともに、横手市と応援人口の皆様とがその関係性を互い

に深められるよう取り組んでまいります。

### 3. 新たな施策等への取り組みについて

#### (1) 令和6年度予算編成方針について

令和6年度は第2次総合計画後期基本計画並びに第2期総合戦略の4年目となります。これまでの取り組み状況を振り返り、その総仕上げに向かうと同時に、本市が抱える地域課題の解決と、将来にわたって持続可能な地域社会の構築を目指し、「みんなの力で 未来を拓く <sup>ひら</sup>人と地域が <sup>かがや</sup>燦くまち よこて」を将来像として、総合計画に掲げる政策・施策を着実に推進することとしております。

特に重点的に取り組む事項といたしまして、令和5年度から実施している「よこての未来創生プロジェクト」では、若手職員からなるプロジェクトチームにより事業内容を検討し、少子化・人口減少対策に引き続き取り組んでまいります。

また、大雨や豪雪などの自然災害が多発していることから、災害に強いまちづくりの推進や身近な生活インフラの老朽化対策など、市民の安全安心の確保に向け喫緊の課題に継続的に取り組むことで、市内全域の市民一人ひとりに光が行き届くような予算編成を進めるよう指示したところであります。

歳入の見込みでございますが、市税収入については、コロナ禍から一定の回復基調が見られ、また地方交付税においても国税収入の伸びなどにより増額が見込まれます。

歳出につきましては、体育館・市民会館の建設や柳田工業団地整備などの大型建設事業を実施するほか、会計年度任用職員に係る勤勉手当支給の導入により人件費についても増額となり、加えて資材高騰や電気料、燃料費の値上げなどの影響で経常経費の増加が見込まれます。このため、財政調整基金を始めとする各種基金の活用や国・県の施策の活用などにより、必要な財源を確保することとしております。

今年度実施した行政評価結果及び市民アンケート結果を踏まえ、事業の優先順位付けと既存事業の見直しを徹底し、限りある経営資源を選択と集中に基づき最適に配分しながら、効果的な事業を展開し市民生活の向上につなげてまいります。

## (2) 自然災害への対応状況について

7月15日から16日にかけての豪雨による被災箇所につきまして、現在の状況をご報告申し上げます。

林道被害につきましては、9月定例会において災害復旧事業の補正予算を議決いただいておりますが、林道<sup>みつもりやま</sup>三森山線は国の災害査定

が終了し、現在、発注に向けた準備を進めているところであります。  
また、林道萱峠<sup>かやとうげ</sup>線の地すべり災害に関しましては、調査機器の設置が完了し、今後の融雪期や梅雨期<sup>ばいうき</sup>における観測を実施することとしており、令和6年度に予定している災害査定に向け準備を進めております。

10月に専決処分による補正予算措置を行わせていただきました  
道路法面及び河川護岸につきましては、増田地域の市道熊<sup>くまのふちしたむら</sup>渕下村線の法面崩壊復旧について工事契約を行い、現在、現場着手に向けた準備を行っております。また、横手地域の横手杉沢川における河川護岸ブロックの復旧につきましては、県との河川協議が整ったことから、復旧工事の契約手続きを進めているところであり、両復旧工事とも、今年度末の工事完成に向けて作業を進めてまいります。

#### 4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、3億5,480万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、620億9,490万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 地域福祉計画等策定事業	1, 295万円
◎ 低所得者生活支援事業	4, 031万円
◎ 有害鳥獣対策事業	237万円

などであります。

## 5. おわりに

今議会に提案しております案件については、専決処分などの報告案件1件、同意案件2件、条例案件8件、契約関係、財産無償譲渡、指定管理者の指定などその他案件19件、令和5年度一般会計補正予算案など補正議案7件の合計37件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。



# 行政一般報告編

～ 9月議会定例会以降の行事等について ～

# 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

## 目 次

(1) JR北上線無料キャンペーン期間におけるスタンプラリー事業	25
(2) 東京かまくら会総会	25
(3) 第99回増田の花火	25
(4) 第15回増田「蔵の日」	26
(5) 第58回真人公園りんごまつり	26
(6) 第38回首都圏増田会総会	26
(7) 浅舞八幡神社祭典	27
(8) 福祉健康まつり	27
(9) 第22回平鹿りんご味覚まつり	27
(10) 第49回東京平鹿町会総会	28
(11) 第51回雄物川芸術文化祭	28
(12) 大森地域文化祭	28
(13) 東京都大田区大森との交流	28
(14) 十文字秋の収穫祭2023	29
(15) 第4回十文字西地区交流センターまつり	29
(16) 第35回いものこまつりin鶴ヶ池	29
(17) 第46回山内文化祭	30
(18) 第36回さんない古里会総会	30
(19) たいゆう緑花園各種イベント	30
(20) 小学生の木工体験イベント	31
(21) 第2回横手市児童・生徒木工工作コンクール	31
(22) 発酵フォーラム2023inよこて	31
(23) 第11回横手ものづくりネットワーク会議	32

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

(24) 横手やきそばフェスティバル2023 .....	32
(25) 第55回よこて菊まつり .....	32
(26) 横手市物産展「リトルよこてin東京・武蔵小山」.....	32
(27) 山内相野々処理区の流域関連公共下水道接続.....	33
(28) 「歴史文化で結ぶ都市間交流宣言」事業連携会議・歴史発表会.....	33
(29) 雄物川郷土資料館特別展「発掘された横手～足元に眠る宝～」.....	33
(30) 雄物川郷土資料館特別展「刀剣展」.....	33
(31) 後三年合戦金沢資料館企画展「津軽氏の源流金沢城と種里城」.....	33
(32) 青山学院大学考古学実習.....	34
(33) 福島大学市内遺跡出土土器圧痕調査.....	34
(34) 横手図書館創立120周年記念講演会 .....	34
(35) 秋田大学横手分校市民向け公開講座.....	34
(36) 家庭教育支援事業「子育て講座」.....	35
(37) 父親の家庭教育参加促進事業.....	35
(38) 第8回よこてシティハーフマラソン.....	35
(39) 第10回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！ .....	35
(40) 横手市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会.....	36
(41) 第63回奥羽横断駅伝競走大会.....	36

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p><b>総務企画部</b> <b>(経営企画課)</b></p>	<p><b>(1)JR北上線無料キャンペーン期間におけるスタンプラリー事業</b></p> <p>11月9日から12日までの4日間、横手市地域公共交通活性化協議会の主催により、「乗って当てよう！北上線スタンプラリー」が開催されました。</p> <p>これは、横手市と岩手県北上市、西和賀町の沿線3市町を主として組織されている「JR北上線利用促進協議会」と、JR東日本秋田支社及び盛岡支社により、初めての試みとして同期間に実施された「北上線運賃無料キャンペーン」に連動した企画として実施されたものです。</p> <p>スタンプラリー事業は、横手駅・ほっとゆだ駅・北上駅の3駅に専用スタンプを設置し、北上線に乗車してスタンプを押印し応募された方の中から抽選で150名の皆様に横手にぎわい商品券などをプレゼントする内容で、運賃無料キャンペーンに連動して多くの方々が北上線に乗車し沿線市町を訪れていました。</p> <p>市では、今後も沿線3市町で連携し、より一層の北上線の利用促進に取り組んでまいります。</p>
<p><b>まちづくり推進部</b> <b>(横手地域局)</b></p>	<p><b>(2)東京かまくら会総会</b></p> <p>9月9日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、首都圏在住の横手地域出身者による「東京かまくら会」総会が開催されました。</p> <p>当日は、総勢約90人が出席し、市関係者、商工関係者、横手市他地域のふるさと会役員の皆様のほか、秋田県東京事務所長のご出席もあり、盛大な会となりました。</p> <p>総会に続く懇親会では、再会を喜び合い、故郷の思い出や地域の現状について語り合う姿が見られました。また、会場内に設置された「物産販売コーナー」は、懐かしい味を買い求める人たちが賑わいました。</p> <p>最後は、会場一体となって「青い山脈」を歌い、来年の再会を約束して閉会となりました。</p>
<p><b>まちづくり推進部</b> <b>(増田地域局)</b></p>	<p><b>(3)第99回増田の花火</b></p> <p>9月14日、県内随一の開催数を誇り、大正時代から引き継がれてきた「増田の花火」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で開催されました。</p> <p>当日は天候にも恵まれ、4年ぶりとなる2尺玉の打ち上げ等により県内外から訪れた約31,500人の観衆が花火に魅了されました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(4)第15回増田「蔵の日」</b></p> <p>10月1日、15回目となる増田「蔵の日」が開催されました。小雨のぱらつく時間もありましたが、県内外から訪れた大勢の来場者で賑わいました。</p> <p>24棟の建物の公開に加え、福嶋サイサイ囃子練り歩きや増田の盆踊り披露等で盛り上がりました。</p> <p>また、来場者に域内を散策しながらもっと増田を知ってもらえるよう、地域住民参加型の経済活性化イベント「蔵の日プラス」を実施し、地域一体となって来場者をおもてなしました。</p>
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(5)第58回真人公園りんごまつり</b></p> <p>10月15日、「第58回真人公園りんごまつり」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で開催されました。雨天のため真人山荘を会場に行われ、メインイベントのミスりんごコンテストには、市内外から6名が出場し、このうち3名が、「第58代ミスりんご」に選ばれました。</p> <p>リンゴの唄コンクールやりんご皮むき競争、りんごウルトラクイズなど多彩なイベントが行われたほか、旬のりんごの即売会等も開催され、会場には約220人が来場しました。</p>
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(6)第38回首都圏増田会総会</b></p> <p>11月19日、第38回首都圏増田会総会が東京上野の「オーラム」において開催されました。</p> <p>ここ数年、新型コロナウイルス感染症対策により自粛を余儀なくされておりましたが、今年参加者は90人以上となり、ふるさと交流会ではジャズバンドの演奏や地元の特産品が当たるビンゴゲーム等で大いに盛り上がりました。</p> <p>会員の皆様は、地元増田の郷土料理や地酒、漬物等を味わい、物産品コーナーでは、ふるさとのお土産や食材を買い求めていました。</p> <p>また、久方ぶりに会った同郷の方々と、時には方言が混じった話に花を咲かせ、故郷の増田に思いを馳せながら、楽しい笑い声が会場内に響いていました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b>	<p><b>(7)浅舞八幡神社祭典</b></p> <p>9月16日、17日の二日間にわたり浅舞八幡神社祭典が開催されました。16日の宵祭りには、旧平鹿地域局前の目抜き通りに、勇壮な武者人形が絢爛豪華に飾られた「飾り山車」6台が集結し、笛や太鼓のお囃子と山車の競演に、訪れた約2,500人の来場者は大いに賑わいを見せておりました。</p> <p>また、旧平鹿地域局前の手作り屋台村では、地元商店や街商が出店し祭りを盛り上げ、フィナーレには約800発の色鮮やかな花火が秋の伝統行事に花を添えました。</p> <p>今後も、各町内と連携を取りながら地域に誇れる祭りとして伝承に努めてまいります。</p>
<b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b>	<p><b>(8)福祉健康まつり</b></p> <p>10月24日、ゆとり館において「福祉健康まつり」を開催しました。この催しは、地域住民の福祉、健康に対する意識の向上を図ることを目的として毎年開催しているもので、当日は約200名の来館者で賑わいました。</p> <p>会場では、保健師による健康チェックや健康相談、栄養士と横手市食生活改善推進員の協力による食育クイズや健康料理レシピ紹介のほか、結核予防婦人会による健診の受診勧奨を行い、来館者自身やご家族の健康について、より関心を高めてもらう機会となりました。</p> <p>そのほか、浴場の無料開放や民謡・演歌歌謡ショーが行われ、多くの方々に楽しんでいただきました。</p>
<b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b>	<p><b>(9)第22回平鹿りんご味覚まつり</b></p> <p>11月3日、「第22回平鹿りんご味覚まつり」がときめき交流センターゆっふる駐車場を会場に開催されました。</p> <p>このイベントは平鹿りんごを県内外にPRし、産直による消費拡大を図るために、関係自治会、JA秋田ふるさと、県平鹿地域振興局の協力により開催しております。</p> <p>今年は季節の果物を主とした農産物直売とりんごのもぎ取り体験に特化した内容とし、多くの来場者に平鹿りんごの魅力をたっぷり味わっていただきました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b>	<p><b>(10)第49回東京平鹿町会総会</b></p> <p>11月12日、東京都墨田区「東武ホテルレバント東京」において、第49回東京平鹿町会総会並びに交流会が開催されました。当日は来賓や会員約80人が出席し、地酒や懐かしいふるさとの味を堪能しながら、地場産品が当たる抽選や歌などの余興で、会員同士交流を深め合いました。</p> <p>会場内に設置された「ふるさと物産コーナー」では地酒、漬物、昆布、豆腐カステラなどが販売され、故郷の懐かしい品々を会員がたくさん買い求めておりました。</p> <p>引き続き東京平鹿町会と連携を図り、より一層地域が元気になるよう交流を深めてまいります。</p>
<b>まちづくり推進部 (雄物川地域局)</b>	<p><b>(11)第51回雄物川芸術文化祭</b></p> <p>11月4日、5日の二日間、雄物川コミュニティセンターを会場に「第51回雄物川芸術文化祭」が開催されました。</p> <p>これは雄物川芸術文化協会の主催で行われたもので、同協会所属団体のほか地域住民の作品を含む90点が展示されました。</p> <p>5日の芸術発表では3団体24名が出演し、日頃の稽古の成果を披露しました。また、特別出演の雄物川小学校合唱部16名によるコーラスも披露され、多くの観客を魅了しました。</p>
<b>まちづくり推進部 (大森地域局)</b>	<p><b>(12)大森地域文化祭</b></p> <p>10月15日から22日までの8日間、大森地区交流センターを会場に大森地域文化祭が開催されました。</p> <p>会場には、市民の力作の押絵や短歌、パッチワークなどの作品98点のほか、大森小学校や横手明峰中学校の児童生徒の作品192点が展示され、来場者は表現豊かな数々の作品に見入っていました。</p> <p>22日には、大森町芸術文化協会会員による「芸能発表会」が行われ、7団体44名の出演者の熱のこもった唄や踊りに、来場者から惜しめない拍手が送られていました。</p>
<b>まちづくり推進部 (大森地域局)</b>	<p><b>(13)東京都大田区大森との交流</b></p> <p>11月4日、5日の二日間、東京都大田区平和島公園周辺3会場にて開催された「OTAふれあいフェスタ2023」に参加し、安全で安心な「秋田・大森産農産物」をPRするとともに、大森町共栄会事務局と交流を深めてまいりました。</p> <p>販売会では、新鮮な野菜などを買い求める方で賑わい、販売開始前から行列ができる盛況ぶりでした。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (十文字地域局)</b>	<p><b>(14)十文字秋の収穫祭2023</b></p> <p>11月3日から5日の三日間、道の駅十文字を会場に「十文字を元気にするプロジェクト実行委員会」の主催による「十文字秋の収穫祭」が4年ぶりに開催され、約1万人が来場しました。</p> <p>新米の試食会、手料理の振る舞い、お買い物抽選会などが行われたほか、フィナーレでは、十文字のイベントの定番となった「麺まき・餅まき・お菓子まき」も行われ、会場は大いに賑わいました。</p> <p>また、5日には「第10回十文字よさこいフェス」も同時開催され、県内各地のよさこい団体14チームによる迫力満点の演舞が披露され、来場者を魅了しました。</p> <p>イベントを通して、多くの皆様に十文字の魅力をPRすることができました。</p>
<b>まちづくり推進部 (十文字地域局)</b>	<p><b>(15)第4回十文字西地区交流センターまつり</b></p> <p>11月5日、「第4回十文字西地区交流センターまつり」が開催され、約200人が来場しました。このまつりは、植田・睦合地区住民のコミュニケーションの醸成を図ることを目的に行われており、地区の文化祭とも言えるものです。</p> <p>ホールでは、各種講座で作成した押し花、川柳、陶芸、絵画、手芸、ごてんまり、十文字和紙などの作品が展示されました。ステージでは、にしの杜保育園児のおゆうぎ、十文字小学校スクールバンドの演奏、県内で活躍されている演歌歌手の歌謡ショーが行われ、大いに盛り上がりました。また、売店では、増田高校で栽培された農産物などの販売も行われました。</p> <p>当日は、植田・睦合両地区の皆様が交流しながら、秋の一日を楽しんでいました。</p>
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(16)第35回いものこまつりin鶴ヶ池</b></p> <p>9月17日、山内地域の活性化と産業振興を図るため、「第35回いものこまつりin鶴ヶ池」が鶴ヶ池公園ふれあい広場を会場に開催され、好天の下、約15,000人の来場者で賑わいました。今年は4年ぶりに花火大会も開催されました。</p> <p>当日は、「いものこ」をはじめとした特産品の販売が行われ、山内名物の「いものこ汁」は、用意した2,500食が完売するなど大盛況となりました。</p> <p>また、全国いものこピラミッド競技大会には、市内外から33組が出場し熱戦が繰り広げられたほか、地元の芸術文化協会による歌や踊り、市内4団体のよさこい演舞や、タレントによる歌謡ステージショーが行われるなど、多彩なイベントが会場を盛り上げました。</p>



## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
	<p>夜の花火大会では、鶴ヶ池の水面を彩る迫力満点の水中花火、スターメインなど約3,200発の花火を楽しんでいただきました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(山内地域局)</b>	<p><b>(17)第46回山内文化祭</b></p> <p>10月21日から24日まで、山内地区交流センターを会場に「第46回山内文化祭」が開催され、190人に来場いただきました。</p> <p>絵画、書、手工芸などの展示部門には、園児・小学生から137点、一般から165点の合計302点の作品が出展されました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のために取り止めとしていた芸能発表も21日、同会場にて4年ぶりに行われ、6団体19人が日頃の練習の成果を披露し、会場に詰めかけた観客から盛大な拍手が送られていました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(山内地域局)</b>	<p><b>(18)第36回さんない古里会総会</b></p> <p>11月5日、第36回さんない古里会総会が東京都「上野精養軒」で開催され、84名が参加しました。</p> <p>参加者は久しぶりの再会とあって、故郷山内の思い出や近況などについて大いに語り合っていました。また、会場内では、地域の特産品や県内の名産品等を販売する「ふるさと物産展」も開催され、大変好評でした。</p> <p>総会には、山内区長会4名をはじめいものこまつり実行委員会会長など、横手市から12名が参加し、会員の皆様との交流を深めました。また、懇親会のアトラクションでは日本舞踊や民謡などが披露され、会場は大いに盛り上がりました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(大雄地域局)</b>	<p><b>(19)たいゆう緑花園各種イベント</b></p> <p>「たいゆう緑花園」では、4年ぶりに地域住民による定植ボランティアのご協力をいただき、約1.5ヘクタールの農地にペゴニア、ペチュニアなど7種類の花苗約8,000株の定植とコスモスなどの播種を行いました。また、大雄小学校1、2年生の児童には、ケイトウ、ニチニチソウの定植作業の体験をしていただきました。</p> <p>今年度は好天にも恵まれたことから、8月上旬には色とりどりの花々が見頃を迎え、9月2日に開催した「たいゆう緑花園パノラマフェスタ」では、ご来場いただいた皆様に花や緑を楽しんでいただきました。</p> <p>また、「押し花コンテスト」と「フォトコンテスト」にご応募いただいた作品は、12月2日から来年1月末日までゆとりおん大雄と大雄地区交流センターなどに展示し、多くの方々にご覧いただくこととしています。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>農林部</b> <b>(農林整備課)</b>	<p><b>(20)小学生の木工体験イベント</b></p> <p>子供たちが木に触れ、森林に興味を持ってもらうことを目的に、10月14日、株式会社ウッディさんないを会場に、市内の小学3年生から6年生を対象とした木工体験を開催しました。</p> <p>このイベントは森林環境譲与税を活用して令和3年度から開催しており、3回目となる今年は児童60名とその保護者が参加しました。</p> <p>はじめに「森林の働きについて」の話<sup>もり</sup>を聞いた後、釘やビスを使って組み立てる本棚作りなどを体験し、森林の役割について理解を深めました。</p>
<b>農林部</b> <b>(農林整備課)</b>	<p><b>(21)第2回横手市児童・生徒木工工作コンクール</b></p> <p>毎年、県並びに全国コンクールが開催されている「児童・生徒木工工作コンクール」について、木の温もりや物作りの喜びを感じ、子供たちの可能性や創造力を引き出すことを目的に、昨年度に引き続き市のコンクールを開催しました。市内の小・中学生を対象に、10月6日まで作品を募集したところ、26点の応募をいただきました。最終審査会において入選作品7点を選出し、秋田県コンクールに推薦するとともに、横手市児童生徒美術展に展示し、入賞作品の表彰式を12月26日に行う予定としています。</p>
<b>農林部</b> <b>(食農推進課)</b>	<p><b>(22)発酵フォーラム2023inよこて</b></p> <p>10月7日、浅舞地区交流センターを会場に、「発酵フォーラム2023 inよこて」を、よこて発酵文化研究所との共催により開催し、発酵食文化の魅力について理解を深めていただきました。</p> <p>フォーラムでは、東京農業大学名誉教授の小泉武夫先生を講師に招き、「日本酒その粋な世界」と題し、日本を代表する発酵食品「日本酒」をテーマとして、江戸の粋な食文化の奥深さについてご講演いただきました。</p> <p>当日は、約100人の皆様にご来場いただき、様々な文献から紐解いたユーモアあふれる逸話や工夫に満ちた調理法の紹介など、江戸に花開いた粋な食文化の講話に興味深く聞き入っていました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>商工観光部</b> <b>(企業誘致課)</b>	<p><b>(23)第11回横手ものづくりネットワーク会議</b></p> <p>11月14日、市内企業の本社、親会社、取引先等を対象に、東京都千代田区の「アルカディア市ヶ谷」において第11回横手ものづくりネットワーク会議を開催しました。</p> <p>当日は38企業、7団体から89名の参加があり、市長による当市のプレゼンテーション、市外の企業2社による企業発表のほか、横手市産業振興アドバイザー佐藤登氏や横手市企業支援アドバイザー松井康氏を交えたディスカッションが行われました。その後ビュッフェ形式による交流会を開催し、当市のものづくりの中核を担う皆様と地域産業の活性化に向けた情報交換を行いました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(観光おもてなし課)</b>	<p><b>(24)横手やきそばフェスティバル2023</b></p> <p>9月23日と24日の二日間、横手やきそばの食文化を未来へ継承するため、秋田ふるさと村を会場に参加型イベント「横手やきそばフェスティバル2023」が開催され、1万人を超える方に来場いただきました。</p> <p>当日は、秋田大学生、平成高校生の約70人にボランティアとして参加・協力いただき、歴代四天王店による横手やきそばの食べ比べ、一般公募により集まった「横手やきそばのアレンジレシピ」の限定販売、やきそば作り体験などが実施され、横手やきそばを丸ごと楽しめる二日間となりました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(観光おもてなし課)</b>	<p><b>(25)第55回よこて菊まつり</b></p> <p>第55回よこて菊まつりが10月28日から11月6日までの10日間の日程で、秋田ふるさと村を会場に開催され、約28,000人に来場いただきました。</p> <p>会場内では約1,000鉢の菊花が展示されたほか、「全国各地の武将隊が参加しての演舞」「横手市民謡連合会による民謡披露」等が行われ、来場者を魅了しました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(横手の魅力営業課)</b>	<p><b>(26)横手市物産展「リトルよこてin東京・武蔵小山」</b></p> <p>10月17日から22日までの6日間、東京都品川区の武蔵小山商店街において、横手市物産展「リトルよこて」を開催しました。</p> <p>「横手・秋の収穫祭」をテーマに、横手の旬の食材や食文化にちなんだ商品の販売をはじめ、秋から冬への移ろいを表現した会場装飾、秋田弁での会話などにより、訪れた多くの皆様に横手の魅力や雰囲気存分に楽しんでいただきました。</p> <p>期間中は、よこてfun通信を通じて募集したボランティア15名の方々から物産展の運営にご協力をいただきました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>上下水道部</b> <b>(下水道課)</b>	<p><b>(27)山内相野々処理区の流域関連公共下水道接続</b></p> <p>横手市生活排水処理構想に基づき、令和元年度から行ってまいりました公共下水道の山内相野々処理区を横手処理区へ接続するための工事が完成し、10月1日から流域関連公共下水道への流入を開始、山内浄化センターは稼働を停止しております。引き続き効率的な運営と適正な維持管理に努めてまいります。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<p><b>(28)「歴史文化で結ぶ都市間交流宣言」事業連携会議・歴史発表会</b></p> <p>「歴史文化で結ぶ都市間交流宣言」事業は、津軽藩ゆかりの地である岩手県久慈市、青森県鱒ヶ沢町・弘前市・黒石市と本市による交流宣言が令和2年に行われたことに始まります。この事業は、5市町のつながりを市内外にPRし、地域間交流の促進と郷土文化への愛着を育むことを目的として毎年開催しています。</p> <p>今年度は横手市が開催地となり、9月30日、10月1日の2日間にわたって各首長のあいさつと歴史文化の発表、各市町の特産品の物産販売やパネル展示などが行われ、500年以上にわたる歴史が紡いだ縁をもとに各市町の連携を深めることができました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<p><b>(29)雄物川郷土資料館特別展「発掘された横手～足元に眠る宝～」</b></p> <p>雄物川郷土資料館では、市教育委員会が近年調査を行った縄文時代から中世までの遺跡のうち、地域の歴史の解明に大きく貢献した象徴的な遺跡の調査成果を公開する特別展「発掘された横手～足元に眠る宝～」を開催しました。7月15日から10月9日までの75日間の会期中、393人の入場者がありました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<p><b>(30)雄物川郷土資料館特別展「刀剣展」</b></p> <p>雄物川郷土資料館では、11月3日から令和6年1月14日まで特別展「刀剣展」を開催しています。館所蔵の鎌倉時代初期の太刀 銘守次(県指定文化財)など12点に加えて、横手出身の絵師3人の筆による「鷹の図」の掛け軸6点もあわせて展示しています。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<p><b>(31)後三年合戦金沢資料館企画展「津軽氏の源流金沢城と種里城」</b></p> <p>後三年合戦金沢資料館では、8月5日から10月29日まで、津軽家の祖先とされる金沢城主「金沢右京亮家光」に焦点をあてた企画展「津軽氏の源流金沢城と種里城」を開催しました。</p> <p>また、9月23日からは「金沢右京亮家光」につながるのある青森県鱒ヶ沢町の出張展示を実施しました。津軽家から鱒ヶ沢町に寄贈された調度品等のコレクションをはじめ、種里城跡の出土品なども展示し、会期中1,049人の入場者がありました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<b>(32) 青山学院大学考古学実習</b> <p>雄勝城があったと推定される造山遺跡群(雄物川町造山地区)の一部である十足馬場南遺跡において、青山学院大学文学部史学科考古学コースの学生・大学院生32名が教員3名の指導のもと、9月1日から5日まで6泊7日の日程で市内に滞在し、単位取得のための考古学実習が行われました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<b>(33) 福島大学市内遺跡出土土器圧痕調査</b> <p>横手市遺跡調査事務所において、福島大学行政政策学類の教授ほか研究者4名及び学生・大学院生12名の計16名が、10月6日から9日まで3泊4日の日程で市内に滞在し、市内遺跡から出土した古墳時代の土器の表面に残された粃や雑穀の痕跡を確認・記録する調査(科研費事業)が行われました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(図書館課)</b>	<b>(34) 横手図書館創立120周年記念講演会</b> <p>明治36年に平鹿郡立図書館として始まった横手図書館は、令和5年9月7日に創立120周年を迎えました。9月23日には「山と川の見える図書館」として親しまれた現在の横手図書館を会場に記念講演会を開催し、約100人が参加しました。</p> <p>講演会に先立ち横手高等学校吹奏楽部がサプライズで出演し、愛宕山や横手川が望める大窓を背景に、旧横手市民歌を含む4曲を演奏し大いに盛り上がりました。</p> <p>講演は「横手と伊藤永之介」と題し、秋田県立図書館長の菅原敏紀氏にご講演いただきました。横手ゆかりの農民文学作家で今年生誕120周年を迎える伊藤永之介の横手における創作活動について理解を深めることができました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<b>(35) 秋田大学横手分校市民向け公開講座</b> <p>9月8日、14日、21日、28日の4回シリーズで、市民向け公開講座「子どもから高齢者まで～各世代に応じた睡眠力向上作戦～」をY<sup>2</sup>ぷらざにて開催し、20名が受講しました。</p> <p>この講座は、医学的観点から「良眠」を学ぶことを目的に行われたもので、秋田大学医学部教授らの指導のもと、世代による生活パターンの特徴や睡眠メカニズム、良眠のための生活習慣について理解を深めました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(36)家庭教育支援事業「子育て講座」</b></p> <p>10月13日から11月10日までの期間、就学時健診にあわせて市内小学校11校で「子育て講座」を開催しました。</p> <p>家庭での教育力向上を目的とし、小学校入学前の心構えや子どもとの関わり方などを、臨床心理士や教育・保育アドバイザーらを講師に招きお話しいただきました。</p> <p>参加した保護者からは、「入学前の不安がやわらいだ」「子どもへの向き合い方を学べた」などの声が聞かれました。</p> <p>なお、未実施の3小学校については、今後入学説明会にあわせて開催の予定です。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(37)父親の家庭教育参加促進事業</b></p> <p>10月21日、十文字地区交流センターを会場に「地図を片手にお父さんとGO！！～謎解き編～」を開催し、市内小学校1、2年生とその父親4組が参加しました。</p> <p>この事業は、父親の家庭教育参加促進による家庭での教育力の向上を目的に開催したもので、パパ'sサークル「ピーターパン」の協力による謎解きゲームのほか、父親同士の懇談を実施しました。</p> <p>懇談では、家庭における子どもとの接し方や子育ての悩みなどを情報交換しながら、交流を図ることができました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<p><b>(38)第8回よこてシティハーフマラソン</b></p> <p>好天に恵まれた9月24日、第8回よこてシティハーフマラソンが開催されました。県内外から約1,000人のエントリーがあり、ゲストランナーには昨年に引き続き、アテネオリンピック金メダリストの野口みずきさんをお迎えしました。さわやかな秋晴れのもと、参加ランナーの皆様は沿道からの応援を背に受けながら、稲刈最盛期の横手を駆け抜けました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<p><b>(39)第10回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！</b></p> <p>10月1日、「第10回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！」が開催されました。県内の全25市町村が一堂に会し、各市町村を代表する選手が襷をつなぐ駅伝大会であり、由利本荘市循環特設コース24.22km、8区間で選手たちが健脚を競いました。</p> <p>横手市は総合3位・市の部2位となり、過去最高成績を収めました。</p>

## 令和5年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<b>(40)横手市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会</b> 10月21日、赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場を会場に、横手市スポーツ推進委員会主催によるグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。スポーツを通じた健康づくりを目的としたこの大会には約70人の市民が参加し、体を動かしながら交流を図りました。
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<b>(41)第63回奥羽横断駅伝競走大会</b> 10月27日から29日にわたって「第63回奥羽横断駅伝競走大会」が開催されました。今回は、西和賀町役場湯田庁舎前をスタートし、国道107号線を主たるコースとする横手市、由利本荘市までの112.3km、全12区間で健脚を競いました。県対抗、一般、高校の部の計28チームが参加し、秋の奥羽路に襷をつなぎました。